

## 八千代市園芸協会「精米真空パック」贈呈



▲八千代市長(右)に精米を贈呈した山崎会長



▲大和田南小学校校長(左)に精米を贈呈する山崎会長

八千代市園芸協会は3月29日に八千代市役所と八千代市立大和田南小学校へ精米真空パック合計450袋(1パック300g)を贈呈しました。

同協会は例年、生産者の生産意欲向上の為に共進会の開催や、地域貢献として各種イベントに参加することで市内産農産物のPRを行っていますが、新型コロナウイルス感染症の影響で各種イベントが中止となったことで「地域の為に何か出来ないか」という思いから、市内産のコシヒカリを精米真空パックに加工して贈呈することを決めました。

同市に贈呈することで社会福祉事業に活用してもらおう他、JA八千代市が昨年同小学校で5学年の児童に「稲刈り出前授業」を行った縁から、児童とその家族にも地元産の米を味わってもらえるように贈呈しました。真空パックにしたのは、米を研いで炊けばすぐに食べられる手軽さと、無洗米でなくあえて標準の精米にしたことで、子供たちが米の炊き方を学ぶ機会になる為だそうです。

八千代市園芸協会会長の山崎浩一さんは「米の消費量をもっと増やしたいと思った。真空パックにしたことで手軽に味わうことが出来る。これをきっかけに、沢山の消費者に市内産の米をもっと食べてもらいたい」と語りました。

## 「JAカードと自動車共済」PR



▲来店者に説明するJA職員

4月23日、JA八千代市はファーマーズマーケット「よったいよ」店頭で『JAカードと自動車共済見積もりキャンペーン』を行いました。職員はチラシを手にしながら来店者に声をかけて推進。同店でJAカード決済で買い物をすると5%割引になること、さらに毎月第4土曜日には1,000円以上の買い物で卵1パックのプレゼントなど特典の説明と、車で来店した買い物客には自動車共済をPRし、アンケートを実施。記入してくれた人には粗品をプレゼントしました。

## 青年部 「産直移動販売」



▲農産物を購入する買い物客

4月27日、JA八千代市青年部は勝田台支店の隣で、「産直移動販売」を初めて行いました。

当日は部員が丹精込めて作ったダイコン、レタス、ハウレンソウ、コマツナ、豆類、米、イチゴなどの他、農産物加工品を販売。事前に張り紙やSNSで告知していたこともあり、会場は大いに賑わいを見せ、来場者は旬の農産物を手に取り、買い物を楽しみました。

花島和博部長は「今回初めて移動販売を行ったが、楽しみにしてくれていた人が多く、好評でとても嬉しい。今後も継続して、青年農家が一生懸命農業をしていることをもっとアピールしていきたい」と語りました。青年部では4月以降、毎月産直移動販売を開催しています。